

第27回(平成22年度)助成者一覧表

1・研究助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工	丹羽 健 (名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル理工学専攻材料 工学分野 助教)	*高圧結晶化学、高圧地球化学、無機化学、X線回折 *物質合成用超高圧高温発生装置の開発と特異な結晶形態を有する 新規機能性結晶の創製
	保浦 知也 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 機能工学専攻 助教)	*機械工学、熱流体工学 *はく離流れの運動量と熱・物質輸送の非相似性に及ぼす主流乱れの 影響
	山本 義幸 (愛知工業大学 工学部 都市環境学科 土木工学専攻 講師)	*土木工学 *都市域モニタリングのための光学系、SARおよびライダーのデータ フュージョン
学	瀬古 繁喜 (愛知工業大学 工学部 建築学科 講師)	*コンクリート材料・構造工学 *コンクリート圧縮強度試験法における供試体の高さ直径比と強度の 補正係数に関する研究
	柏谷 英樹 (名古屋大学大学院 医学系研究科 国際交流室 准教授 ICMT in Baylor College of Medicine 教授)	*消化器外科学、ウイルス学、分子生物学、遺伝子治療 *がん腫瘍選択的に増殖し治療効果を示す新しいバイオ製剤、遺伝子 変異ウイルスを使用したTranslational Research
医学	シバスタン・カルナン (愛知医科大学医学部 生化学講座 助教)	*腫瘍生物学 *上皮成長因子受容体分子(EGFR)阻害物質の細胞生物学的効果の検討
法 学 ・ 経 済	星野 崇宏 (名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授)	*マーケティング・サイエンス *新製品開発支援のための適用型コンジョイント測定方法の開発
	酒井 一 (名古屋大学大学院 法学研究科 教授)	*民事訴訟法学・国際民事手続法学 *国際民事紛争解決における対話型紛争処理手続きの研究
	竹澤直哉 (南山大学 経営学部 ビジネス研究科 ビジネス専攻 准教授)	*ファイナンス *投資家の消費と株式市場に関する研究
	吉本 理沙 (愛知大学 経営学部 会計ファイナンス 学科 助教)	*公会計 *東海3県における環境行政コストの算定と事務事業評価に関する研究
	西野基継 (愛知大学 法学部 教授)	*法哲学 生命倫理 *生命科学の進歩と人間の尊厳
芸術	白石 朝子 (愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科 博士後期課程)	*鍵盤楽器領域(ピアノ) *日本におけるピアノ音楽の受容 フランス人音楽家アンリ・ジル＝マルシェックスの活動からの一考察
計	12名	

## 2. 海外助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工	佐藤 浩太郎 (名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 准教授)	*新規重合反応の開発と機能性高分子材料の創出 *環太平洋化学会議に出席し、高分子の精密重合に関する2件の発表を行なう
	岡本 正吾 (名古屋大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻 助教)	*テクスチャ知覚に関する研究: 振動触覚テクスチャの非可逆情報圧縮からのアプローチ *ハプティクス分野の国際会議に出席し、論文発表および最先端の研究動向を調査する
	飯塚 悟 (名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授)	*室内温熱環境・気流環境解析のためのCFDモデルと人体温熱生理モデルの連成解析システムの開発 *デンマーク工科大学 室内環境・エネルギー国際研究センターにおいて、室内温熱環境・気流環境を解析するCFDモデルと人体快適性を評価する人体温熱生理モデルの連成解析システムを開発するためのディスカッションを行なう
	高塚 真央 (名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 建築構造システム 講座 博士課程・後期課程)	*新しい展開型構造物の提案とその理論解析; 特に宇宙における巨大な太陽電池パネルの収納・展開方法を新たに提案し、その展開挙動を解析シミュレーションする *上海にて開催される国際学会に出席し、展開型構造物に関する新たな研究成果の発表を行なう
	磯部 雅晴 (名古屋工業大学 工学研究科 助教)	*固体-液体相転移点近傍におけるランジェントな結晶核の生成に関する研究 *イタリア ローマで行なわれる国際会議 International Workshop on Dynamics in Viscous Liquids に参加し講演を行なう
	田中 雅章 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 機能工学専攻 助教)	*コバルト系ホイスラー合金を強磁性電極に用いた磁気トンネル接合素子によるトンネル磁気抵抗効果に関する研究 *アメリカ アリゾナ州のスコッツデールで開催される56th Conference on Magnetism and Magnetic Materials にて、研究成果の発表および情報収集を行う
	山下 哲朗 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 機能工学専攻 博士後期課程)	*新しい三元系希土類-Ni-Al 金属間化合物の電子物性研究 *イギリス ケンブリッジにて行なわれる強相関電子系国際会議に参加し研究成果の発表および超伝導等の強相関電子物性に関する情報交換を行なう
	北川 一敏 (愛知工業大学 工学部 機械学科 准教授)	*高粘度流体中の衝撃波の伝播機構と圧力減衰効果 *イギリスで開催される第28回国際衝撃波シンポジウムにおいて、高粘度流体中を伝播する爆風・衝撃波の圧力伝播と圧力減衰効果についての発表を行なう
	党 紀 (愛知工業大学 耐震実験センター ポストドクトラル研究員)	*水平2方向地震力が同時に作用される鋼製橋脚の耐震性能に関する実験的研究 *中国で開催される国際会議 Pacific Structure Steel Conference にて研究成果の発表を行なう
	三浦 彩子 (名城大学 理工学部 建築学科 准教授)	*ヨーロッパの近代公園史研究 *フランス式整形庭園を対象に、治水技術・水力発電・ポンプの導入など、近代工業技術の発展とともに、様々な「装置」が庭園にもたらされるようになった造園技術の近代化について考察する
学	岩下健太郎 (名城大学 理工学部 建設システム工学科 助教)	*砂漠化防止のための新型化学的固化処理剤および生態修復技術の開発に関する研究 *中国東南大学および江蘇艾特克環境工程設計研究院において海外交流研究の促進および本研究開発を推進する
	長谷川 勝 (中部大学 工学部 電気システム工学科 准教授)	*Parameter Identification for IPMSM Position Sensorless Control Based on Unknown Input Observer *マレーシア ペナンにて開催される米国電気電子学会 産業用電子工学とその応用に関する国際会議に出席し、研究成果を発表するとともに、当該分野における最近の研究開発動向を調査する
	磯部 友彦 (中部大学 工学部 都市建設工学科 教授)	*都市交通システムのユニバーサルデザイン *欧州の所要都市を訪問し、都市交通システムのユニバーサルデザインについて、特にシステム上の工夫などを中心に視察する また、現地の専門家と交流し、意見交換をする
	松本幸大 (豊橋技術科学大学大学院 助教 建築・都市システム学系)	*大スパン構造物の座屈および振動問題に関する研究 *シェル・空間構造に関する国際シンポジウムに出席し、Buckling load evaluation for single layer cylindrical lattice shellsと題して研究発表を行なうとともに研究資料の収集を行なう
	小畑 建太 (愛知県立大学大学院 情報科学研究科 情報科学専攻博士後期課程)	*衛星観測データの解像度依存性に関する基礎研究 *オーストリア シドニーで開催される34th International Symposium on Remote Sensing of Environmentに参加し、研究成果を発表する

部門	研究者	研究テーマ・等
医学	榊原 明 (名古屋大学大学院 医学系研究科 細胞生物学分野 助教)	*生体組織内イメージングに基づく大脳皮質形成メカニズムの解明 *米国神経科学会にて論文投稿に先立つ形で哺乳類大脳皮質錐体ニューロン移動に関する最新の知見について研究成果のアピールを行なうとともに発表予定論文の内容に関して専門的なフィードバックを求め内容の向上に役立てる
	春田 佳代 (愛知医科大学 看護学部 講師)	*身体拘束の解除における問題点と現状の把握 看護技術教育方法の構築 *アメリカで開催される2011年米国老年精神医学会議に参加し米国における身体拘束の現状や老年期の精神衛生の問題について見識を広め、研究に役立てる
	池本 和久 (藤田保健衛生大学 医学部 薬理学教室 講師)	*プテリン誘導体による血管内皮機能調節に関する分子薬理学的研究 *アメリカにおいて開催される学会に参加し血管系の細胞生物学の最先端の研究内容についての知見を深める
法学・経済	野口 晃弘 (名古屋大学大学院 経済学研究科 教授)	*新株予約権の付与が監査役の独立性に及ぼす影響に関する研究 *ヨーロッパ会計学会に参加し、最新の研究動向に関する資料収集を行うとともに、学会参加者との意見交換を通じて、研究成果の国際発信を目標とする論文の完成度を高める
	三浦 聡 (名古屋大学大学院 法学研究科 教授)	*CSR(企業の社会的責任)のグローバルな展開における国連グローバル・コンパクトの役割 *国連グローバル・コンパクト(GC)主催の実務者会議へ出席し情報を収集するとともにGCに関する研究および単著執筆に役立てる
芸術	鳥山 頼子 (愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科 博士後期課程)	*シレメーチェフ家の農奴劇場におけるオペラ上演 *ロシア芸術史研究所に在籍しシレメーチェフ家の農奴劇場で使用されたオペラの譜面に見られる書き込み修正跡について分析等資料調査を行なうとともに高度なオペラ上演を目指していたことを実証し、劇場の音楽活動の見直しを行なう
計	21名	